

せと市議会だより

令和6年12月定例会

112号

令和7年2月号



P.11

聖霊中学・高等学校チアリーディング部

〔実績〕

JAPAN CUP チアリーディング日本選手権大会自由演技競技DIVISION 1

高等学校部門 聖霊高等学校 (チーム名: MINNIES)

2023年決勝出場 第10位

チアリーディングスピリッツ演技競技高等学校部門2023年優勝

全国大会に10年以上連続出場しており、近年は準決勝以上に進出。



特集

P.2-3

せとまちトーク
市民と議会の意見交換会を開催しました

せとまちトーク

市民と議会の意見交換会を開催しました

今回のせとまちトークは、これまでの平日開催を変更し、ご要望が多かった週末(11月9日(土)、10日(日))に市役所にて開催しました。

開催に向けて議員が駅頭で配布したチラシがきっかけで参加された方もあり、参加人数は両日で45人。若い方や、お子さんを連れたファミリーの参加もありました。

テーマ毎、またはテーマなしの少人数のグループをつくり熱心な意見交換が行われました。

いただいたご意見から市への政策提言につながるよう調査研究を進めてまいります。

また、せとまちトークの開催方法については、さらに参加しやすい方法などを市民の皆さまのご意見を基に検討を重ねてまいります。



テーマ 地域防災について～南海トラフ地震が起きたらあなたはどうする?～

総務生活委員会

市民の皆さまが考える課題・問題点

- 想定外のことが起こった時にどう対処するか
- 災害時に近所同士で助け合える地域力の強化が必要
- 消防本部の老朽化
- 災害時の外国人住民への言葉の問題・情報の伝え方
- 地域住民を巻き込んだ防災活動が必要

市民の皆さまが考えたアイデア

- 災害発生時は、市役所はあてにならないことを徹底周知する
- 自助を高めるために市役所がもっと具体的に動く
- 防災リーダーを育てる(防災士を増やす)
- 消防庁舎を更新する
- 外国人の方及び社会的弱者への配慮を反映させる
- 自治会や町内会の加入率を上げ、情報共有や伝達を広げていく



テーマ 瀬戸らしい子育て・学びについて～保育園・部活動・不登校を考える～

厚生文教委員会

市民の皆さまが考える課題・問題点

- 保育士不足による待機児童問題
- 育児休暇明けは4月からとは限らず、途中からの入園が難しい
- 部活動での先生の負担が大きい
- 不登校用の学校内施設の限界
- 学ぶ方法、居場所の選択肢の少なさ
- 不登校が問題ではなく、そこからひきこもりになることが問題

市民の皆さまが考えたアイデア

- 保育士の給与・待遇の改善
- 不登校児童・生徒へのアウトリーチ(※)(退職教員などの活用)
- タブレットを使ったSOS発信をできるようにする
- 母子手帳交付時、入学時により情報発信を
- 現在の学校制度を考え直す
- 子育て・教育に対する予算を増やすべき



テーマ 中心市街地の活性化～行きたいと思う中心市街地商店街とは?～

都市活力委員会

市民の皆さまが考える課題・問題点

- 1、2年で考えられる課題ではない。長期的に考える課題(道路等のまちづくりが重要)これまでの歴史・伝統・文化を活かして活性化するには時間がかかる
- 尾張瀬戸駅に出た時に、商店街とわかる感じになっていない
- 人が参加してもらい、引き付けることが課題
- 市民目線で歩きやすい、車の運転がしやすい整備が必要

市民の皆さまが考えたアイデア

- 文化伝統は各地域にあり、それを集める必要がある。市民が動いて参加する。特に若者にやってもらう必要がある
- 末広・銀座・中央通り商店街のグランドデザインを固め、将来の賑わい創出を検討していくべき
- さまざまなことを行う中で新しいことを見つける。学生が協力できるような環境づくり
- 中心市街地の街づくりを考える際には、歩道や道路等のことも考えた整備を



市民の皆さまが考える課題・問題点

- プラ回収頻度、資源集積所の数が不足
- 市長及び議員(議会)に物申す
- 財政(歳入・歳出)の適正化
- 子ども中心の施策が不十分
- 瀬戸市を魅力的な街にするための駅前開発 など

市民の皆さまが考えたアイデア

- 回収回数及び、ゴミ置き場を増やす
- 市長・議員ともに情報を公開する
- 行政として、税金の使いみちをきちんと説明する
- 子どもを育てる環境づくりを予算化する
- 大きな商業施設・子どもの遊べる場所など新瀬戸駅周辺の土地活用をする



フリーテーマ

今後の対応 今回のフリーテーマで出された意見については、以下の手順で取り扱います。

1 政策検討会議での協議

全議員が意見を精査し、優先順位を付けて各常任委員会へ送ります。

2 担当課への伝達・一般質問等への反映

市の担当課へ伝えるほか、議会での一般質問を通じて対応を検討していきます。



せとまちトークへのご参加ありがとうございました。市民の皆さまから市政や議会に対する率直な意見や建設的なアイデアをいただきました。これらの意見を基に、今後の政策立案や市政運営に活かしてまいります。引き続き、皆さまの声を大切にしながら、魅力ある瀬戸市の実現に取り組んでいきます。

※本記事で紹介したテーマや意見の詳細については、瀬戸市議会HPで公開しています。ぜひご覧ください。



12月定例会の主な議案概要と審査内容

総務生活委員会

第77号議案

パルティセと市民交流センターに係る指定管理者の指定について

概要 パルティセと市民交流センターの指定管理者の契約が今年度で満了するため、改めて指定管理者を指定し、市民ニーズに効果的・効率的に対応するもの。

Q パルティセと貸館の稼働率が50%以下と低いことが選定委員会から指摘されているが、原因をどう考えているか伺う。

A 夜間の貸館利用が少ないことが原因。同所の利便性が良い強みを活かし、社会人などの利用を促進する展開を考えていきたい。



第81号議案

瀬戸市指定ごみ袋の買入れについて

概要 瀬戸市指定のごみ袋を早期に調達し、計画的かつ安定的に市民へごみ袋を供給しようとするもの。今回は燃えるごみ45リットルを375万枚、30リットルを80万枚、20リットルを2万5千枚、燃えないごみ40リットル10万枚、20リットル1万2,500枚を、総額3,620万1千円で買入れる。

Q 燃えるごみの袋は45リットルの使用が圧倒的に多いようである。当初ごみ減量目的に30リットルのごみ袋を配布し、ごみ減量を働きかけたが、現状は45リットルが多く利用されていることについてどう考えるか。価格差を設けたほうが良いと考えるが見解を伺う。

A 45リットルが180円、30リットルが160円と価格差があまりないため、利用する市民は大きい袋を使用しているのではと考えている。有料化を開始して1年半経過しようとしているが、引き続き販売店への配送量を見極めながら袋の価格を変更するタイミングをみて検討できればと考えている。

予算決算委員会厚生文教分科会

第89号議案 一般会計補正予算

●にじの丘小学校増築について

概要 児童の増加に対応した学習環境を整備するため、にじの丘小学校の増築工事に係る設計費用を追加するもの。

Q プールの前の多目的広場に普通教室棟が建つ計画となっているが、多目的広場を使用している団体の利用は、今後どのようになるのか伺う。

A 現在、多目的広場を利用している団体の方々については、広場の面積は狭くなってしまうが、継続して使用していただきたいと考えている。なお、工事期間中の利用などについては、改めて団体の方々に説明していく。

●小中学校体育館の空調設備整備について

概要 児童生徒の熱中症対策及び指定避難所としての生活環境の改善を図るため、小中学校体育館空調設備整備に係る設計費用を追加するもの。

Q 空調工事に併せて、屋根・外壁などの断熱化も行うが、どのような工夫をするのか。また、令和9年の夏までに、すべての学校にエアコン設置予定だが、設置の優先順位はどのように決めていくのか伺う。

A 屋根・外壁・サッシについては、断熱もしくは遮熱して、空調のエネルギーロスを最小限にできるよう、設計委託の中で検討していきたい。また、設置の順番についても、予算や工事内容などを踏まえ、最適な方法を検討していく。

行政視察報告

総務生活委員会では、令和6年10月15日～16日、熊本市に、「地域防災計画」について、熊本県益城町に、「復興計画策定と住民主体の復興への取り組み」について視察しました。

熊本市は、平成28年の地震で、観測史上初となる短期間に2度にわたる大規模な地震により甚大な被害を受けました。自助・共助・公助について、特に、災害発生直後は、公助だけでは限界であり、それは市役所の職員自らも被災者であるからです。避難所では運営スタッフが不足する中、多くの避難者が「何かをしてもらおう」というようなお客様気分となる人が多く、再度、自助・共助・公助の意味を理解し、災害に備えるべきと感じました。熊本市では防災基本条例を策定し防災における自助・共助・公助の役割を明確にし、地域防災力等を強化する方針を示しています。本市においては、将来発生するとされている、南海トラフ地震に備え、被災地の経験、教訓を活かし、防災の指針を再確認する必要があります。



厚生文教委員会では、令和6年10月21日～22日、千葉県八千代市と神奈川県川崎市を視察しました。

視察項目は、八千代市では「福祉総合相談課」。川崎市では公民協働による不登校児童生徒の居場所・学びの場『フリースペースえん』です。八千代市では、令和7年度からの重層的支援体制整備事業に備え、課としての体制を整理することによって、業務の効率的な整理が行われ、市民にとってもわかりやすい窓口となっていました。また、職員の業務の視点からも、複合的な課題は、福祉総合相談課とすることで、他の部署の効率的な業務に寄与していました。

川崎市では、『フリースペースえん』が設置されている子ども夢パークを視察しました。同市が制定した、子どもの権利に関する条例を具現化する場、自分の責任で自由に遊ぶ場、ありのままの自分でいられる場として、子どもたちが遊びながら、自由に使い方を考えて「作り続けていく」施設であり、子どもにとっての第三の居場所として機能していました。



厚生文教委員会

第82号議案

八幡小学校校舎長寿命化改良・増築(機械設備)工事請負変更契約の締結について

概要 校舎の給水方式を、水道直結方式から受水槽方式へ変更するため、契約金額を2,531万7,600円増額するもの。

Q 給水方式を変更するものであるが、なぜ後から変更となったのか理由を伺う。

A 八幡小学校の既設給水管は、水道直結方式であったため、既存方式での配管取替工事を想定していた。工事契約後に水道課から、断水・減水時に給水を確保する必要のある学校施設は、受水槽方式とする旨の指導があり、災害時における機能面も踏まえて、変更することとした。

都市活力委員会

第85号議案

パルティセと駐車場に係る指定管理者の指定について

概要 パルティセと駐車場の指定管理者となる団体を瀬戸まちづくり株式会社とし、指定の期間は令和7年4月1日から令和12年3月31日までとする。

Q 指定管理者の応募に向けた説明会の参加者と選定方法について伺う。

A 説明会を開催したところ2社の参加があったが、申し込みは1社であった。指定管理者選定委員会ですその1社を審査した。



12月定例会議案等審議結果

市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
第77号議案	パルティセと市民交流センターに係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第78号議案	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第79号議案	瀬戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第80号議案	瀬戸市職員の退職手当に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第81号議案	瀬戸市指定ごみ袋の買入れについて	可決(全会一致)
第82号議案	八幡小学校校舎長寿命化改良・増築(機械設備)工事請負変更契約の締結について	可決(全会一致)
第83号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(全会一致)
第84号議案	品野町3丁目外地内排水路整備工事(推進)請負契約の変更について	可決(全会一致)
第85号議案	パルティセと駐車場に係る指定管理者の指定について	可決(全会一致)
第86号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第87号議案	瀬戸市下水道条例の一部改正について	可決(全会一致)
第88号議案	瀬戸市水道法施行条例の一部改正について	可決(全会一致)
第89号議案	令和6年度瀬戸市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)
第90号議案	令和6年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第91号議案	令和6年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第92号議案	令和6年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第93号議案	瀬戸市立図書館長寿命化(建築)工事請負契約の締結について	可決(全会一致)
承認第2号	専決処分の承認について	承認(全会一致)
第94号議案	瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第95号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第96号議案	瀬戸市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第97号議案	令和6年度瀬戸市一般会計補正予算(第8号)	可決(賛成多数)
第98号議案	令和6年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
第99号議案	令和6年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第100号議案	令和6年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第101号議案	令和6年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第102号議案	令和6年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第103号議案	令和6年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
諮問第4号	人権擁護委員の推薦について(竹川典子氏)	同意(全会一致)
諮問第5号	人権擁護委員の推薦について(矢野友子氏)	同意(全会一致)
諮問第6号	人権擁護委員の推薦について(横江俊次氏)	同意(全会一致)

請願

議案番号	件名	採決結果
請願第2号	ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書提出を求める請願	不採択(賛成少数)
請願第3号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願	不採択(賛成少数)

議員提出議案

議案番号	件名	採決結果
第6号議案	瀬戸市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第7号議案	瀬戸市議会委員会条例の一部改正について	可決(全会一致)
第8号議案	パレスチナ自治区のガザ地区における人道上の危機的状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議	可決(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

議案番号	議員名	自民新政クラブ										公明党 瀬戸市議団	日本共産党 瀬戸市議団	市民の声	新風せと 無所属の会	無会派	無会派	無会派										
		黒柳知世	颯田季央	山内精一郎	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	三木雪実	三宅聡	池田信子	長江秀幸	原誠	新井亜由美	浅井寿美	中川昌也	戸田由久	白井淳	松原大介	馬嶋みゆき	長江公夫	石神栄治	高桑茂樹	伊藤賢二	
第94号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第95号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第97号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
請願第2号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
請願第3号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

【○】は賛成(採択) 【×】は反対(不採択) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。
 なお、小澤勝議員は議長職のため採決には加わりません。
 また、長江秀幸議員からは、欠席届が提出されており、採決には加わっておりません。

議員提出第8号議案 パレスチナ自治区のガザ地区における 人道上の危機的状況の改善と 速やかな停戦の実現を求める決議

すでに4万人以上が犠牲となり、このうち1万6千人が子どもという非人道的な事態を、一日も早く終わらせ、停戦を実現することを求めた決議案を全会一致で可決しました。

パレスチナ自治区のガザ地区における人道上の危機的状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議

イスラエルとハマス等のパレスチナ武装勢力の間では、武力衝突と停戦が長年にわたり繰り返されており、昨年10月7日にはハマス等によるイスラエルに対するテロ攻撃が発生し、この地域での戦闘は既に1年以上が経過した。戦闘が長期化したことで、子供や女性、高齢者を含む多くの民間人が犠牲となっており、ガザ地区は人道上の危機的状況にある。

瀬戸市議会としては速やかに人質を解放し、人道支援活動が可能な環境が確保されるよう、即時の停戦を求めるとともに、平穏が回復し、関係改善に繋がるよう強く期待する。また、未だ多くの人々が身を寄せるガザ地区南部ラファにおける全面的な軍事作戦に反対するとともに、人道支援活動が阻害されることのないよう求める。

本市は、世界の恒久平和を願い「平和都市」を宣言していることから、日本政府においては、人質の解放と停戦が実現するよう、関係国とも緊密に連携しつつ、国際連合安全保障理事会やG7の一員として環境整備に取り組むとともに、引き続き、ガザ地区の人道上の危機的状況の改善、事態の早期沈静化のために格段の外交努力を払うよう強く求める。

以上、決議する。
 令和6年12月20日

瀬戸市議会

議会活性化推進特別委員会の設置

「時代の流れに合わせ議会の取り組みをアップデートしていく必要がある」という考えから、令和6年9月議会において議会活性化推進特別委員会が設置され、7人の委員が選出されました。

- ・瀬戸市議会基本条例の評価・検証
- ・議員報酬及び議員定数の検討
- ・政策検討会議の評価・検証
- ・ハラスメント条例・高校生議会の調査研究

など、議会活性化に資する取組について議論していきます。



市の行政課題などについて15人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

Q 市議の質問
A 市の回答

会議の様子は会議録や録画映像でご覧になれます。



中水野土地区画整理事業は同意率73%で、なぜ組合設立説明会を行うのか



市民の声
白井淳



Q 12月1日に組合設立説明会を開催したが、県が求めている同意率85%に達しておらず、強引ともとれる説明会をなぜ開催したのか。また、説明会の出席者数と本事業計画について、どのような説明を行い、どんな意見が出たのか伺う。

A 権利者150人中115人、法定同意数3分の2を上回る約76%の同意を頂いているが、事業費増加の恐れや生活環境悪化に繋がる状況を踏まえ、早期に認可申請を行う必要があった。説明会には67人の出席があり事業計画や同意状況等が説明された。「同意率85%に達してから認可申請するのは」「工事費が上がる前に早期着工を」等の意見があった。(都市計画課)

魅力ある学校づくりと学校の適正規模・適正配置の推進について



公明党
瀬戸市議員
長江秀幸



Q 萩山小学校と特別支援学校が同じ敷地内にあり一緒に過ごすことで、児童・職員・保護者ともにバリアフリーやノーマライゼーションの意識が身につけてきた。それが当初のメリットであったが、今回の再編でそのメリットがなくなってしまうのではないかと危惧するが、どのように対応していくのか伺う。

A 光陵中ブロックにおいて、児童の交流や合同授業を取り入れた独自教科において授業として学びの機会を確保するとともに、合同行事を開催するなど、児童生徒一人ひとりに寄り添いながら、開校以来続いた学びの機会の創出を目指していく。(教育政策課)

災害時に備えた学校施設利用計画について



新風せと
無所属の会
馬嶋みゆき



Q 避難所では良好な環境が求められ、状況により体育館以外に校舎の利用も想定される。円滑な避難所運営のため、教育の早期再開のためにも、校舎や運動場などをどのように活用するか利用計画を策定すべきと考える。まずは数校を選定し策定に取組、段階的に進めてはと考えるが見解を伺う。

A 安全・安心な避難所の生活環境を整備することは重要と認識している。避難施設としての校舎利用について平時から防災担当部局と学校側で協議し、一定の方針を決めておくことは災害時の円滑な対応につながるため取組を進めたいと考える。(危機管理課)

部活動の地域移行について



新風せと
無所属の会
松原大介



Q スポーツ庁・文化庁が示す「休日の部活動の地域移行に向けた改革推進期間令和5～7年度」というスケジュールに対してどのような見解であり、本市としてはどのようなスケジュールを想定しているのか伺う。

A 本市では、平日と休日の指導の一貫性の観点から、休日だけではなく平日の部活動の在り方も含め検討を進めている。本年10月に実施した小学校5・6年生と中学生へのアンケートを踏まえ、まずは中学校部活動の一定の方向性を年度内に示していく。なお、国は11月に、令和8～13年度の6年間を実行期間とする方針を新たに示したところ。(学校教育課)

学校給食費無償化について



日本共産党
瀬戸市議員
原誠



Q 市長選挙で川本市長は「給食費中学まで無料」を公約した。この施策を公約とした理由と、今後公約実現に向けどのようなビジョンを描いているのか伺う。

A 「住む・働く・学ぶ・育む」の暮らしの4要素をしっかりと整え、充実させていくことで本市をより魅力的な街にしていきたいと考え、「給食費中学まで無料」を公約の1つとした。引き続き、本市をより魅力的な街として、多くの方に住み続けたいと思っただけの街づくりをすすめていく。給食費無償化については、食材費と物価の高騰という状況の中でも、国の政策と歩調を合わせながらすすめていきたいと考えているので、引き続きさまざまな機会をとりえて国への働きかけを行っていきたい。(学校教育課)

認知症の人の尊厳ある暮らしを守る「ユマニチュード」について



公明党
瀬戸市議員
池田信子



Q 認知症の人や家族等が安心して穏やかに暮らせる生活環境の構築が必要である。記憶障害や認知障害が起こる中で、行動・心理症状(BPSD)の発生を抑制することは重要である。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の四つの柱で届けるケア技法「ユマニチュード」が注目されている。普及等、積極的に取り組んではどうか伺う。

A 瀬戸介護事業連絡協議会等に情報提供を行い、その考え方についての理解を得ながら、ユマニチュードのケア技法の取得にかかる、時間、経費、実施体制などの観点からも「実際の取組が可能かどうか」を判断していく。(高齢者福祉課)

ペットとの同行・同伴避難と、ペットとの避難訓練の実施について



日本共産党
瀬戸市議員
新井亜由美



Q 災害時に避難が必要となった場合、市はペットとの同行避難と同伴避難について、どのように考えているか。また、市の総合防災訓練で1地区をモデル地区として、ペット避難訓練を実施する必要があると考えるが見解を伺う。

A 本市では避難が必要となった場合、アレルギーや感染症予防、動物が苦手な人などを考慮して、同伴避難とせず、避難所利用者の生活場所とは別の場所に受け入れる同行避難としている。また、市内全地区で行われた防災訓練の内容について、全連区参加で検証会を行い、ペット避難についても成果と課題を共有している。(危機管理課)

健康で元気に暮らせる街づくり



自民
新政クラブ
颯田季央



Q 健康増進には、公園など世代を問わず運動できる環境が重要である。本市は、「公園不足地域を優先し都市公園整備を進める。」「矢田川右岸地区において公園整備を通じて良好な住環境の維持を目指す。」と方針を掲げている。矢田川右岸地区を世代・地域ニーズに合った都市公園へ整備をする計画は有用と考えるが見解と課題を伺う。

A 幡山地域は公園不足地域として認識し、矢田川河川敷を自然環境保全や運動・レクリエーション利用をする都市緑地として活用する有用性がある。しかし、河川管理者が愛知県のため協議が必要である。(建設課)

支所について



自民
新政クラブ
朝井賢次



Q 本市における今後の財政収支や市民サービスの観点から、市内3カ所の各支所(幡山、水野、品野)の今後の在り方について検討する時期に来ていると考える。そのためにはまず今後の方向性を市長が示す必要があるが見解を伺う。

A 支所や市民サービスセンター等の今後の方向性については、オンライン手続などデジタル技術の活用や、コンビニエンスストアにおける各種証明書の交付などによる窓口機能のスリム化、これらのサービス水準や利便性、利用状況等を踏まえて、民間との役割分担、機能の集約、廃止等について判断していきたい。(政策推進課)

夏の草刈りについて



公明党
瀬戸市議団
三宅聡



Q 市は資源リサイクルセンターにて、市民に対し、電動式草刈り機の無料貸出しを行っている。しかし、今夏、繁茂のためか最長2か月待ちの状態があった。そこで貸出しできる草刈り機の増設は可能か伺う。

A 貸出しを行っている資源リサイクルセンターには電動式草刈り機が10台あるが、今夏は充電バッテリーの劣化のため安全性を考え、市民に貸出すのは4台のみとした。今後は順次充電バッテリーを交換し、貸出しを希望される市民の待ち時間を短縮していきたいと考えている。(環境課)

利便性の高いコミュニティバスとする為の改革について



市民の声
中川昌也



Q コミュニティバスの継続的運行には、西宮市の運行方式である「地域のみなさんに委ね、地域で運行する」「市は事業運営を支援する」とした新たな方式を取り入れることで、利用者の利便性は向上し、財政負担を激減させることができ、本市でも実行可能であると考えているが見解を伺う。

A コミュニティバスの地域主体による運行は可能であると認識している。財政負担については収支率の改善なくしては厳しいものが続くと考えている。新たな取組については自主運行の実施を望む地域と協力し取り組んでいく。(都市計画課)

違法性が疑われる、自衛隊への18歳市民の個人情報提供は中止を



日本共産党
瀬戸市議団
浅井寿美



Q 自治体による自衛隊への個人情報の提供及び自衛隊による個人情報の活用については、現在、奈良市の高校生が奈良市及び国を相手取り国家賠償請求訴訟を起こしている。個人情報の提供は義務ではなく、現在も約4割の自治体が提供を行っていない。違法性が疑われる自衛隊への個人情報の提供は中止すべきと考えるが見解を伺う。

A 個人情報の保護に関する法律第69条第1項の規定により提供が可能となる「法令に基づく場合」に該当するとの見解が、国の個人情報保護委員会から示されており、関係法令に基づく適正な事務処理と考えている。(市民課)

給食の食材費高騰への対応および市長公約である無償化の進捗状況



自民
新政クラブ
黒柳知世



Q 物価高騰対策として、食材費に臨時交付金を充てているが、結果として果物などの甘味がなくなっている事や安価な食材への変更など献立のメニューを変更した理由を伺う。市長公約である給食費無償化は、財源が課題の一つだが、市単独での実施は可能か伺う。

A 物価高騰がとどまることなく上昇しているが、まずは栄養バランスの確保を優先し食材の工夫をしながら献立を立てている。様々な自治体が、無償化に向かって議論を積み重ねて国等に要望しているが、やはり自治体単独ではそれぞれ難しいという判断である。(学校教育課)

中水野駅周辺の土地区画整理事業について



自民
新政クラブ
宮園伸仁



Q 中水野駅周辺の土地区画整理事業については、掲げる施策目標の実現や本市の将来に向け、必ず進めていかなければならない事業と考えるが、本市としての見解を伺う。

A 本事業については、平成29年に策定した第6次総合計画や都市計画マスタープランに位置付けて以降、段階を踏んで進めてきたところである。その間には、地元の発起人や、事業化検討パートナーなど、毎月協議の時間を設けて、検討を積み重ねている。本事業は、本市の目指す都市像の実現に向けて、必ず進めていかないとはいえない事業であると考えている。(都市計画課)

瀬戸市の財政強化策を「ふるさと納税」の視点から考察する



自民
新政クラブ
山内精一郎

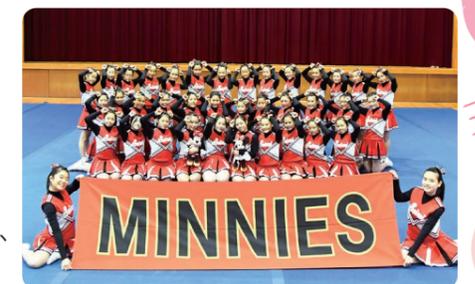


Q 本市への令和5年度「ふるさと納税」の寄附額は、1億8,282万円であった。企業版ふるさと納税も合わせると、実質的な収支は2,691万円のプラスの状況である。実績に対する評価と財政に与える影響を伺う。

A 「ふるさと納税」は財政収支の増減に直接関わるものであり、健全な市政運営に大きな影響を持つものと考えている。令和3年以降黒字化が続いており、今後も黒字化を維持するための取組を強化し、財源確保に努めていく。具体策として、本市の強みである瀬戸焼関連の返礼品の更なる充実に取り組む必要があると考えている。(政策推進課)

輝きと絆の競技、チアリーディング部 ミニーズの魅力に迫る

全国大会常連チームのメンバーたちが、競技への情熱と挑戦について語ってくれました。
「チアリーディングの最大の魅力は、仲間との協力です。一人では決してできない技を、全員で力を合わせて成功させた時の達成感は格別となります。また、学年を超えて関わり合うことで生まれる絆や、技が成功した瞬間に仲間と喜びを共有する楽しさも、この競技の素晴らしさの一つです。ミニーズは演技を通して見る人に「元気」「勇気」「笑顔」を届けたいと思っています。まだ、あまり知られていないスポーツですが、私たちの演技を見て元気や笑顔を感じてもらえたら嬉しいです。」
チームメンバーの思いが詰まった演技が、見る人に笑顔を届ける！これからもミニーズの挑戦は続きます。応援よろしくをお願いします！



聖霊中学・高等学校チアリーディング部

※今回は議会だより編集委員の嶋田議員が取材しました。



テレビ番組

TV

グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

12月定例会の番組内容は「せとまちトークの報告」や「12月定例会の結果報告」についてお送りします。

次回放送予定 1月27日(月)～2月2日(日)

放送時間 7:10～、9:10～、12:10～、18:10～
20:10～、22:10～

放送日を変更し、
観ていただきやすくなりました。

番組がご覧になれます。



ラジオ番組

RADIO

RADIO SANQ 「せとまちラジオ」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では「私のマイブーム」について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

次回放送予定 2月18日(火)、3月25日(火)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～、24:00～

RADIO SANQホームページから
過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴



傍聴をご希望の方は、
北庁舎5階の議会事務局に
お越しください。

インターネット中継



会議の様子をライブ配信
(生中継)・録画配信していま
す。ホームページからアクセ
スしてください。

スマート
フォン・
タブレット
でも!



3月定例会開催予定

2月 13日(木) 本会議(開会・予算大綱説明)

28日(金) 本会議(議案上程・説明)

3月 5日(水) 本会議(代表質問)

6日(木) 本会議(代表質問・一般質問)

7日(金) 本会議(一般質問)

10日(月) 本会議(一般質問・議案質疑・
委員会付託)、予算決算委員会

11日(火) 総務生活委員会、
予算決算委員会総務生活分科会

12日(水) 厚生文教委員会、
予算決算委員会厚生文教分科会

3月 13日(木) 都市活力委員会、
予算決算委員会都市活力分科会

18日(火) 予算決算委員会、議会運営委員会

21日(金) 議会運営委員会

24日(月) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時(3月6日、7日は午後1時)からの開催予定で
すが、日程が変更される場合があります。

※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット
中継でご覧いただくことができます。

※請願・陳情の提出締切は、2月3日(月)の午後5時です。

編集後記

特集ページは昨年11月に実施したせとまちトーク。初参加の
方も多く、今回もたくさんの多様なご意見をいただきました。

今期新たに発足した議会活性化推進特別委員会の紹介、また、
全会一致で可決した「パレスチナ自治区のガザ地区における人道
上の危機的状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議」の全文を
掲載しましたので、ぜひお読みください。

ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先/議会事務局 議事課 ☎88・2740
E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行/瀬戸市議会
〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをチェック!



アプリでも議会だよりをチェック!



Catalog Pocket マチイロ